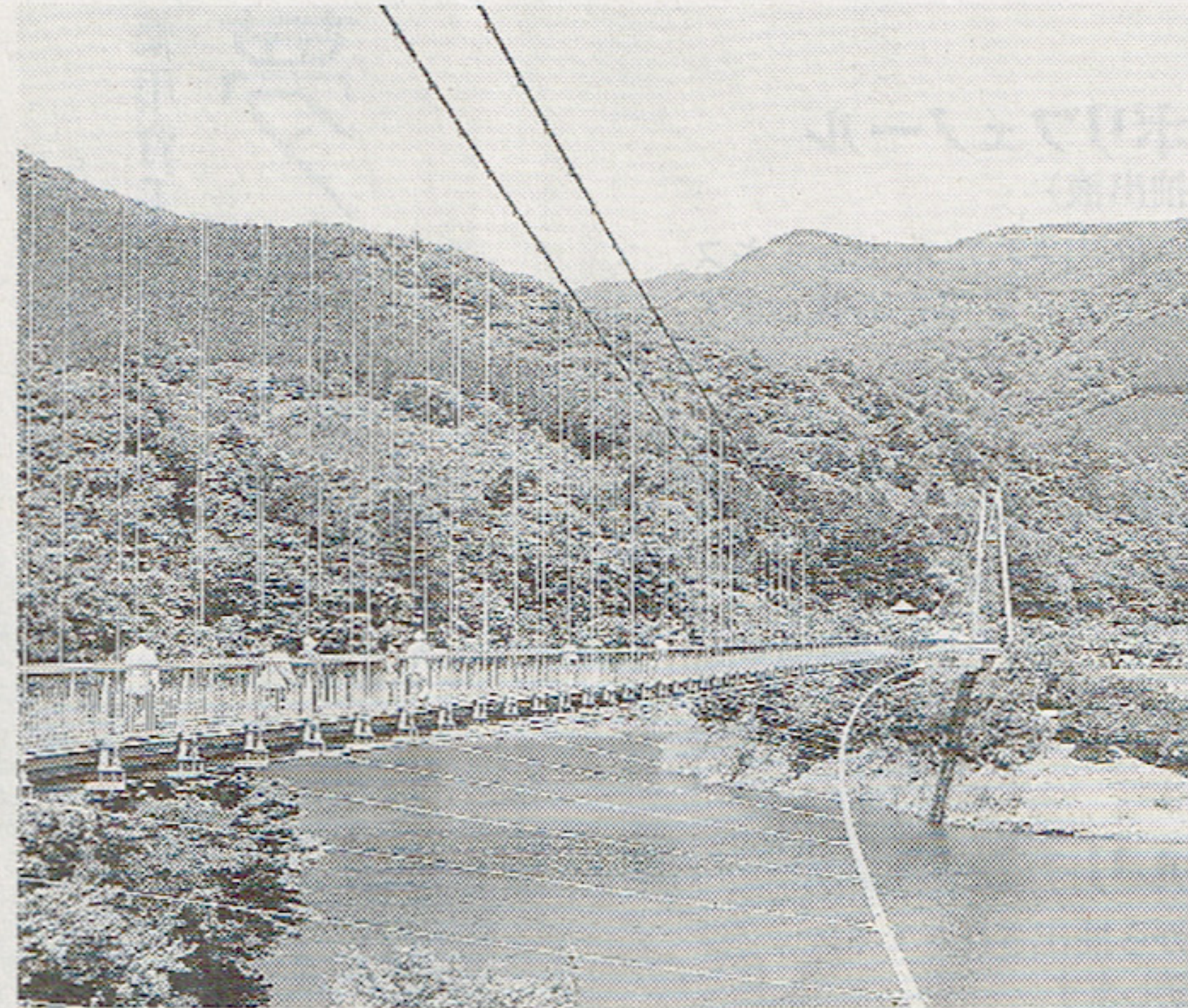


もみじ谷大吊橋 「恋人の聖地」に

那須塩原 静岡のNPO選定



「恋人の聖地」に選定された「もみじ谷大吊橋」
＝那須塩原市関谷（塩原温泉観光協会提供）

那須塩原市関谷の塩原ダムにかかる「もみじ谷大吊橋」が、NPO法人地域活性化支援センター（事務局・静岡市）から「恋人の聖地」に選定された。4月1日付。申請していた塩原温泉観光協会が7日に発表

し、モニユメントを設置するなど「塩原温泉の魅力向上につなげたい」と誘客効果に期待している。

「恋人の聖地」は、同センターが「少子化対策と地域の活性化への貢献」をテーマにした観光地域の広域

連携を目的にしている。3月の選考委員会で「もみじ谷大吊橋」を含め4件が決まった。全国で118カ所目となる。

県内では那須町湯本の「那須高原展望台」（2010年）に次いで2番目。同時に、夏はゆりパークとしても知られるスキー場「ハンターマウンテン塩原」が「サテライト施設」に選ばれた。

歩行者専用の大吊橋は幅1.5m、全長約320m。1999年に完成した。橋を会場にしたウエディングイベントも恒例行事で、15

回目の今年は「もみじ谷グリーンウエディング」と名前をあらためて6月9日に開催される。5組のカップルが結婚式を挙げる。

これまでの挙式カップルは70組にもなる。カップルが愛を誓う場所の象徴にもなりつつあるという。

観光協会では「ロマンチックな場所という魅力が加わり、宣伝効果に期待できる。地域全体を巻き込んで事業を展開したい」としている。